

梶広子氏文書概要

- 1: 文書群番号 097103
- 2: 文書群名 梶広子氏文書
- 3: 出所 梶広子家
- 4: 家業・役職等 近世・近代：肥料商・両替商・中在家町名主ほか
- 5: 地名 摂津国川辺郡尼崎中在家町／兵庫県川辺郡尼崎町／内尼崎町／尼崎市
中在家町／尼崎市西本町
- 6: 行政区分 尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼崎町／尼崎市
- 7: 歴史 梶家ははじめ大物(現尼崎市大物町)に居住していたと伝わる。その後中在家町に居を定めた。家業は肥料商で、代々名主をつとめる有力な町方商人として代を重ね、享保から天明期にかけては干鰯・干粕・油粕等を販売し、さらに地主としての地位をも併せ持ちながら、両替商・質商としての経済活動もおこなった。
- 8: 伝来 平成13年(2001)5月、梶氏より寄贈。
- 9: 史料入手先 梶広子氏(原蔵者)
- 10: 点数 336点(目録件数336件)
- 11: 年代 明和7年(1770)～明治35年(1902)
- 12: 構造と内容 本文書群は金融関係証書類が大半を占めている。これら以外の特徴的な史料として、5冊からなる天保5年(1834)「中在家町間口帳」や、慶応2年(1866)「中在家町町絵図」、青山氏領時代の尼崎町全域の寺社を網羅した、元禄5年(1692)「尼崎寺社改め付込帳」などがあげられる。
- 13: 関連史料 中在家町梶久右エ門家屋敷図、天野屋市兵衛家文書(1)(2)、徳田善五郎氏文書(1)～(3)、奥田吉康氏文書、魚問屋奥田家文書、平城敏一氏文書、秋岡つる氏旧蔵文書
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 石井 進